



立志 鍛錬 協調

平成30年6月12日号

立三申

立川市立立川第三中学校  
Tachikaw Daisan J.H. School

だより

## 完全燃焼した体育大会

校長 山口 真一

1学期の大きな行事である体育大会が、たくさんの成果をあげて終わりました。これは、生徒一人一人が体育大会の目的をしっかりと理解し、お互いに協力して主体的に自分の役割に取り組んでいるからです。吹奏楽部による入場行進は本校ならではのものであり、毎年多くの方から称賛されています。また今年度から生徒会種目が入り入れられ、より一層充実した内容になりました。男女別縦割りクラスによる大人数での大縄跳びでしたが、少ない練習時間にもかかわらず、連続で10回以上も跳べたクラスもあって、団結力と運動能力の高さに感心しました。体育大会実行委員会が今年度から委員会便りを発行するなどして、一人一人が真剣に全力で取り組めるように一生懸命活動してくれました。自主的に活動できた経験は、今後の生活に生きてくると思います。

体育大会の成功は2週間にわたる練習だけではなく、普段から人との関係を深め、学級づくりや委員会や係活動にそれぞれが一生懸命取り組んできたからです。大きな行事に対する心の準備が普段からできているからです。先月、サッカーワールドカップの日本代表が発表されましたが、キャプテンとしても活躍した長谷部誠選手が日常生活の大切さを説いています。7年前に出版された「心を整える」という著書は140万部を超えるベストセラーになり、読んだ人も多いと思います。その中で、素晴らしい成果を出すために実践してきた習慣が紹介されています。例えば、「整理整頓は心の掃除に通じる」、「マイナス発言は自分を後退させる」などです。常日頃から整理整頓を心がけることで、生活や勉強に規律や秩序をもたらし、物事をポジティブに考えることで、必要なときに自分の力を最大限に発揮することができます。長谷部選手が活躍しているドイツには「整理整頓は、人生の半分である」ということわざがあります。ルールを守って、規律正しい生活を送る点では、日本と共通しているところがあります。世界で活躍するのも学校で活躍するのも日常の生活で整理整頓を徹底し、心の安定を図ることが大切であることがわかります。日々の学校生活がしっかりとできていることに自信を持ってください。

## お知らせ

すでに配布してありますが、『平和学習 被災地ヒロシマを学ぶ』という取組で、各中学校代表1名が市より派遣されます。希望する人は、副校長に申し出て専用の用紙を受け取り、作文を書いて応募してください。